

大腸癌の肝転移機序及び  
治療法の確立に関する研究

【研究課題番号 09671341】

平成9年度～平成11年度科学研究費補助金  
(基盤研究C)  
研究成果報告書

平成12年3月



研究代表者 亀岡 信悟

(東京女子医科大学医学部 第2外科学教授)

## 【研究組織】

研究代表者 : 亀岡 信悟 (東京女子医科大学医学部主任教授)

研究分担者 : 斎藤 登 (東京女子医科大学医学部助手)

林 達弘 (東京女子医科大学医学部助手)

永田 仁 (東京女子医科大学医学部助手)

曾山 鋼一 (東京女子医科大学医学部助手)

## 【研究経費】

平成 9年度 400千円

平成10年度 500千円

平成11年度 500千円

計 1400千円

## 【研究発表】

### (1) 学会誌等

1. 斎藤 登、三橋 牧、林 達弘、永田仁、亀岡信悟：癌転移抑制療法の基礎実験 東京女子医科大学実験動物中央施設年報 創刊号 1997.12
2. 斎藤 登、亀岡信悟：大腸癌肝転移と接着分子の臨床応用 厚生省がん研究8-20 平成8-9年度研究報告集 1998.3
3. 斎藤 登、林 達弘、永田仁、曾山鋼一、荒武寿樹、亀岡信悟：接着分子による癌の浸潤・転移機構解明に関する研究 東京女子医科大学総合研究所紀要 18 1998.3
4. 斎藤 登、三橋 牧、林 達弘、永田仁、亀岡信悟：癌転移抑制療法の基礎実験 東京女子医科大学実験動物中央施設年報 第2号 1998.7
5. 斎藤 登、曾山鋼一、林 達弘、永田仁、荒武寿樹、亀岡信悟：大腸癌の肝転移機序の検討ー細胞接着分子よりみてー 東京女子医科大学総合研究所紀要 19 1998.8
6. 曾山鋼一、斎藤 登、亀岡信悟：大腸癌における接着分子 $\beta$ 1インテグリンの検討ー血中レベル定量及び免疫組織染色についてー. 日本大腸肛門病学会雑誌 52 (2) : 119-127, 1999

### (2) 口頭発表

1. 斎藤 登、三橋 牧、曾山鋼一、瀬下明良、亀岡信悟、平山直美、飯島克昌、入江伸吉、藤本大三郎：がん浸潤・転移を表すマトリックス分解マーカーの基礎と臨床 第6回がん転移研究会総会 1997.4.3
2. 斎藤 登、板橋道朗、荒武寿樹、三橋 牧、瀬下明良、亀岡信悟：

大腸癌肝転移における尿中GGH・血清ラミニン併用診断の意義 厚生省  
がん研究森班 第1回班会議 1997.6.7

3. 斎藤 登、三橋 牧、曾山鋼一、瀬下明良、亀岡信悟、平山直美、飯島  
克昌、入江伸吉、藤本大三郎：大腸癌浸潤・転移における分子機構の解  
析と臨床応用の意義 第50回日本消化器外科学会総会 1997.7.18
4. 曾山鋼一、斎藤 登、林 達弘、瀬下明良、亀岡信悟：大腸癌における  
接着分子インテグリンの検討—インテグリン $\alpha 6 \beta 1$ 染色と血清インテグ  
リン $\beta 1$ 値について 第50回日本消化器外科学会総会 1997.7.18
5. 斎藤 登、三橋 牧、瀬下明良、亀岡信悟：大腸癌転移・浸潤予知マー  
カーとしての接着分子定量の意義 第56回日本癌学会総会  
1997.9.27
6. 斎藤 登、三橋 牧、荒武寿樹、鈴木啓子、板橋道朗、瀬下明良、亀岡  
信悟：大腸癌肝転移と接着分子の臨床応用  
厚生省がん研究森班 第2回班会議 1997.11.22
7. 斎藤 登、三橋 牧、林 達弘、永田 仁、曾山鋼一、瀬下明良、亀岡信悟、  
春宮 覚、藤本大三郎フィブロネクチン接着ドメインと血管新生阻害剤TNP-  
470併用による癌転移抑制の検討 第51回日本消化器外科学会総会 1998.2.19
8. 斎藤 登、三橋 牧、曾山鋼一、瀬下明良、亀岡信悟、春宮 覚、藤本  
大三郎：大腸癌肝転移モデルにおける各種転移阻害剤の併用効果  
第7回がん転移研究会総会 1998.7.11
9. 斎藤 登、三橋 牧、林 達弘、永田 仁、瀬下明良、亀岡信悟：消化  
器癌における接着分子ラミニンの血清学的定量の意義 第36回日本癌  
治療学会総会 1998.10.9
10. 斎藤 登、三橋 牧、林 達弘、永田 仁、瀬下明良、亀岡信悟：大腸  
癌肝・肺転移例での接着分子マーカーの変化  
厚生省がん研究 加藤班 第2回班会議 1998.11.21

11. 斎藤 登、三橋 牧、曾山鋼一、林 達弘、永田 仁、瀬下明良、亀岡信悟：消化器癌における腫瘍代謝性マーカーとしての尿中GGHの意義  
第85回 日本消化器病学会総会 1999.4.23
12. 斎藤 登、曾山鋼一、林 達弘、永田 仁、三橋 牧、瀬下明良、亀岡信悟、平山直美、藤本大三郎：大腸癌肝転移診断および転移抑制における細胞外マトリックスの臨床的意義 第54回日本消化器外科学会総会  
1999.7.15
13. 斎藤 登：大腸癌肝転移の分子機構－細胞接着分子から遺伝子治療へ  
向けて 第20回東京女子医科大学遺伝医学研究会 1999.11.12